

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20T2
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: 機能材料
研究開発課題名	: ルチル型酸化チタン負極を用いた高エネルギー密度小型固体電池の開発
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 薄井 洋行(鳥取大学)

評価結果の総合所見

本課題は、蓄電池の高エネルギー密度化の実現に向け全固体 Li 電池の負極材料の開発を目指すものである。特に優れた成果が得られ、企業との共同研究も進んでおり、イノベーション創出が大いに期待できる。数値目標に関しては全てにおいて上回っており、特に溶液系での十分な性能発揮と、固体系においても有望な充放電性能を得ている点は評価できる。企業との共同研究契約も締結できており、本技術の有望さを示している。また、知財も積極的に出願しており、今後の取り組みに向けての準備が進んでいる。本技術は、リチウムイオン電池系のみならずポストリチウムイオン電池においてもインパクトを与える可能性がある。

以上